

2013年4月9日 15:11:26

タイトル

閉じる

印刷用ページ

授業科目名	科目区分	
Communicative English Ⅲ M (3)	コミュニケーション科目	
	時間割コード	
講義題目	041346	
英語プレゼンテーション演習	年度	時間割
	2013	前期 金1
担当教員	単位数	教室
長井 克己[Nagai Katsumi]	1	
	対象年次及び学科	
	2～ 全学共通科目	

関連授業科目

Communicative English I/II

履修推奨科目

学習時間

授業90分×15回＋授業外学習

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、1年次の授業（Communicative English I / II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は受講生のスピーキング能力の育成に重点を置いています。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 医療現場で英語によるコミュニケーションをはかることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、パラフレーズ（言い換え）などの方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. とにかく英語で数分間、話しつづけることができる。

成績評価の方法と基準

Speech : 20% Handout (pdf) : 20%

Mid-term exam : 30% Term exam : 30%

スピーチは 1. The speaker used notes when necessary but did not read a script. / 2. The speaker's voice was loud enough. / 3. The speaker's pronunciation was easy to understand. / 4. There was a clear structure from the introduction to the conclusion. の4項目を5段階評価する。試験は付属C Dのスクリプトから語句の穴埋めを30問。

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】

- (1) 3 minutes speech on newspaper articles, (2) Q&A,
(3) Shadowing practice, (4) Role-play of "Happy Apple Hospital" の順に演習を行う。

【授業計画】

第1回：新聞記事を速読し、内容を確認してスピーチの内容を考える。教科書の確認。

第2回～第7回： 1 Unit / 2 weeks で Read-Aloud / Shadowing 練習を行う。

第8回：中間試験とチュートリアル

第9回～第14回： 1 Unit / week で演習を行う。

第15回：期末試験とフォローアップ

【自学自習に関するアドバイス】

スピーチ用ハンドアウトはpdf形式で作成し、前日正午までにメールの添付として提出すること。CDを何度も何度も繰り返し聞き、耳で語彙を増やすこと。次に同時に口に出して発音練習をすること。

教科書・参考書等

伊藤&伊藤. (2008). シャドーイングで身につける実践医療英会話.

(ISBN 978-4-521-730417)

スピーチの題材となる新聞記事は、1回目の授業で配布。

オフィスアワー

授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

欠席回数が4回以上になった時点で単位不認定となります。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。

参照ホームページ